



最近、全国各地で取り組まれている、ごみ対策や脱炭素化。ニュースやインターネットで耳にしたり、目にする機会も増えました。では、この町に住む私たちにできることは何があるのでしょうか。このシリーズでは、ごみ対策や脱炭素化に関連した身近な話題をご紹介します。「ごみのこととか、脱炭素化とか…」みんなで楽しく考えてみましょう。

連載第6回目のテーマは「小型家電のリサイクル」。お家で使わなくなった小型家電（デジカメ、ラジオ、ドライヤー、アイロンなど）がどのようにリサイクルされていくのかをご紹介します。

## 小型家電は都市鉱山!? 小型家電のリサイクル

問 資源循環担当34・1111 内線292 (2-15)

### 久喜宮代清掃センターに運ばれた小型家電のゆくえ

- 1** 充電式家電やリチウムイオン電池等の有害ごみが混ざっていないか手作業で選別その後、ベルトコンベアで運ばれていく
- 2** 破碎機で細かく碎き、磁力で鉄を抽出
- 3** ②で残ったその他の部分は、回転ふるいや風力で大きさごとに選別し、アルミ、プラスチック類、可燃物、不燃物の種類ごとに分類される
- 4** 分別されたアルミニウムや鉄はストックヤードに運ばれ、回収業者に売却される

このように小型家電は人の手や機械で選別され金属資源を中心にリサイクルされます



### 小型家電は国認定民間サービスを上手に活用 ごみに混ぜず、分けて資源化!

#### 分別はしっかりと! "充電式" にはご用心

指定袋に入る大きさの小型家電の多くは「燃やせないごみ」で分別します。しかし充電式小型家電（リチウムイオン充電電池を内蔵しているもの）やスプレー缶、モバイルバッテリー等は発火の危険があるため「有害ごみ」として分別してください。



▲「燃やせないごみ」に混入した充電式小型家電の例 これらを人の手で選別して事故を防いでいます



#### 分別せずにゴミ出しすると大事故へ

充電式小型家電が収集車内で押しつぶされて発火・破裂を起こし、処理施設や住民、現場で働いている作業員が危険にさらされたり、原因究明のため作業を中断するなど処理効率が下がってしまいます。

### 不要な小型家電を処分するときは、国認定の民間サービスを活用!



不要な小型家電を処分するときは、国認定の民間サービスがおすすめです。町では連携協定を結んでいる認定事業者「リネットジャパンリサイクル株式会社」のパソコン同梱無料回収サービスが利用できます。不要となったパソコンと一緒に不要な小型家電も回収されます。なお、認定を受けていない業者による回収は違法の可能性があります。注意しましょう。

小型家電には、金・銀・銅・鉄・アルミ等が含まれており「都市鉱山」とも呼ばれています。民間サービスを適切に活用して、小型家電の資源化にご協力ください。

パソコンを含む回収であれば無料! /



リネットジャパンリサイクル株式会社  
町の令和3年度回収実績 138件、1245.4kg  
資源の有効活用、減量化に効果がありました!



小型家電をきちんと分別、民間サービスを正しく活用することで鉱山資源の採掘による環境負荷が低減され、資源を守ることに繋がります。

**「混ぜればごみ、分ければ資源」**  
正しい分別と民間サービスの適切な活用についてご協力をお願いします!